

非正規労働者支援街宣活動 ~公契約にかかわるすべての労働者のために~

7月26、27、29日の3日間、前橋・高崎・太田の3地域で非正規労働者支援の取り組みとして、議員懇・連携議員と共に駅頭にて非正規労働者の処遇改善に向けた、街宣活動を行いました。

今回は、「公契約にかかわるすべての仕事」に適用される法律と条例の制定を目指していることを県民に訴えるとともに、各地協の協力を得て、チラシとティッシュの配布を行いました。



7月26日 太田駅



27日 新前橋駅



29日 高崎駅

赤城親しみの森(国有林)で森林整備

7月9日、産別・地協と事務局の56名が参加し、渋川市赤城町の赤城山国有林で森林整備作業を行いました。

当日は天候にも恵まれ、林野労組から3名の指導員のご協力を頂き、風倒木の間伐作業や下草刈りを

行いました。

森林整備作業の前段では、安全に作業するための心構えとして、指導員による刈り払い機ならびにチェーンソーの取り扱い方などの安全講習を開催しました。



暑さの中、風倒木の間伐作業を行う



指導員(林野労組)から機具の使用方法などを学ぶ



作業後に笑顔で記念撮影

連合群馬議員懇談会2011年度学習会 ~渋川県産材センターを視察~

7月20日、会員や連携議員など37名が参加し、渋川県産材センターを視察しました。

渋川県産材センターは4月から稼働し、①3m無選別材の受入に特化、②A~C材の全てを定額買取、③A~C材の全てを用途に応じ加工、販売し有効活用するという3つの特徴を売りにしているため、林業者からは今まで廃棄していた木材も有効活用できて、収入の見積もりが立てやすいという利点があり好評を得ているとのこと。

田村センター長から「60年経った木でも活用し、資源の循環・有効利用を推進していきたい」また、山口環境森林部長からは「群馬県は今、『関東一の森林県から林業県へ』を合言葉に取り組んでいる。林業の元気を群馬から発信していきたい」と挨拶がありました。参加者から、県産材センターのシステムや買い取り価格のコンセプト、利益率についてなど質問があり、渋川県産材センターへの大きな期待が感じられました。



熱心に質問する会員



真剣な眼差しで加工課程を見入る



チップヤード